

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R5-1号)

令和5年6月9日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

## はじめに

今年度も6月から10月まで、伊勢・三河湾の貧酸素水塊の発達状況について、現況と予測の情報を提供します。

データは、三重県水産研究所が「あさま」で実施する浅海定線調査、愛知県水産試験場が「海幸丸」、「へいわ」で実施する環境調査等の結果を利用し、月2、3回程度情報提供する予定です。

情報は速報値であるため、後日、補正等で修正される場合もありますので、ご承知おきください。

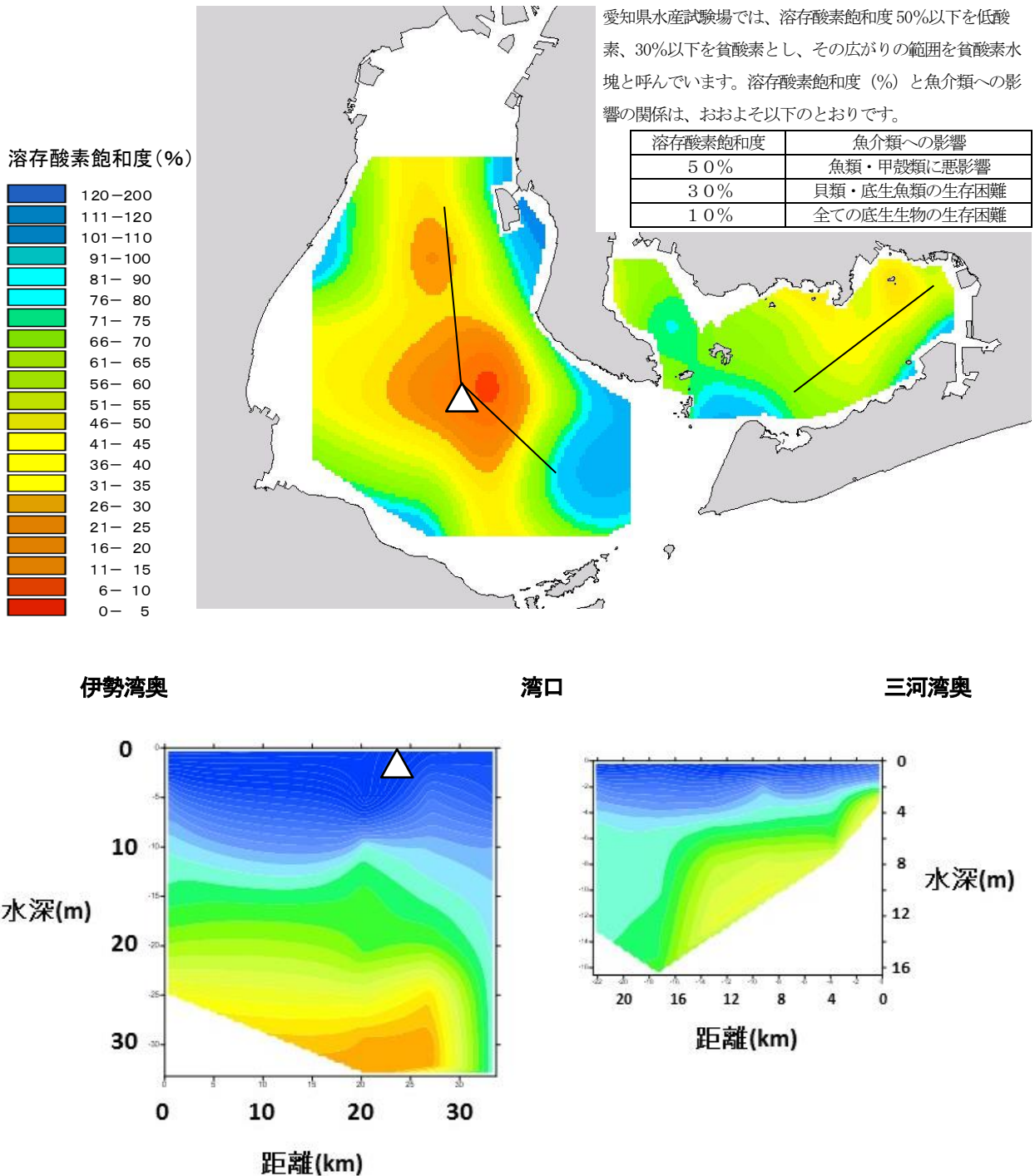


図1 伊勢湾 (6月7、8日) 三河湾 (6月6、7日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」「海幸丸」調査)

## 伊勢湾

6月7、8日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の湾中央部で貧酸素水塊が確認されました。

今後は表層の水温上昇と降雨による塩分低下にともなう成層の発達により、底層で貧酸素水塊が拡大すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.5~21.7	17.1~27.6
底層	15.4~19.2	31.8~33.7

## 三河湾

6月6、7日の調査結果を図1に示しました。現時点では渥美湾、知多湾ともに、溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊は確認されませんでした。今後は伊勢湾同様、表層の水温上昇と降雨による塩分低下にともなう成層の発達により、底層で貧酸素水塊が発生すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.6~22.1	10.1~22.0
底層	18.8~20.6	27.5~32.5

## 参 考

前年同期の両湾底層の溶存酸素状況

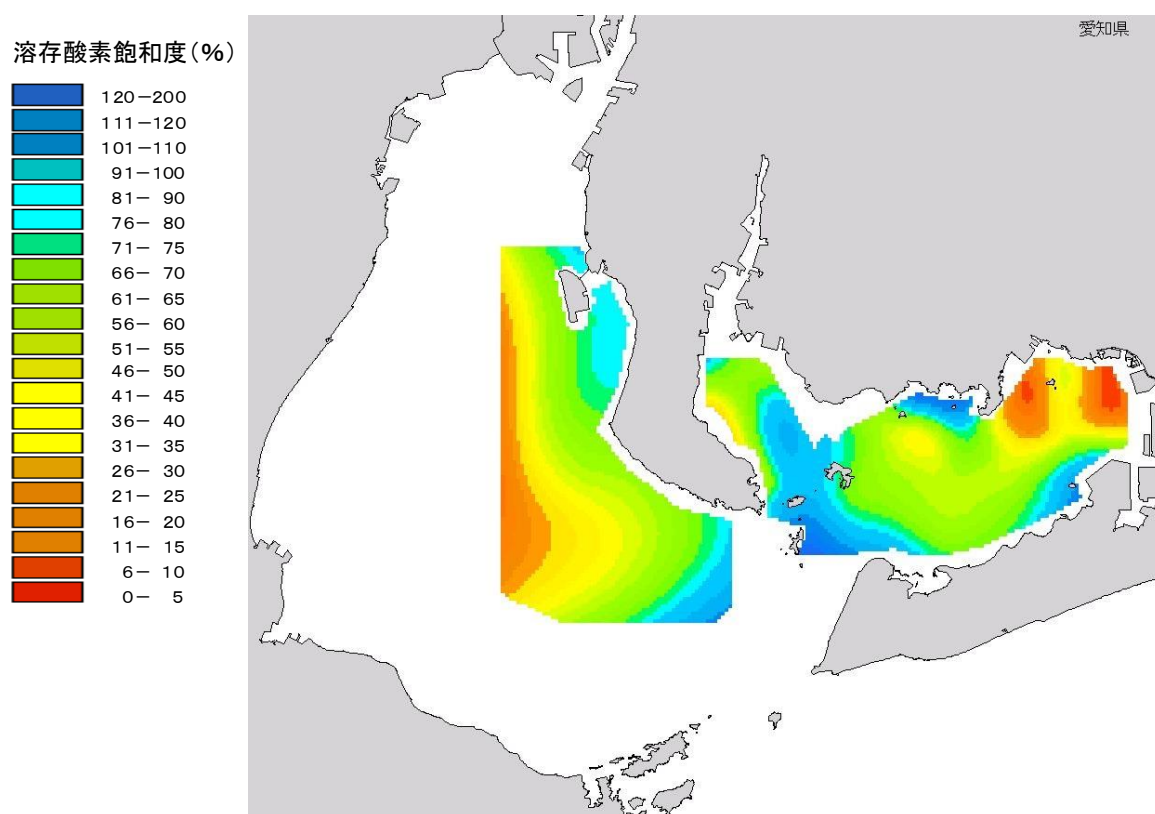


図2 令和4年6月1日 (伊勢湾)、6月2、3日 (三河湾)